

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021
http://www.haruyama-hosp.com e-mail : info@haruyama-hosp.com

現在、クモ膜下出血をどう治療するか

診療部 脳神経外科
岡田 和紀

今回は、脳卒中の中でもクモ膜下出血（SAH）について述べたいと思います。

クモ膜下出血は、一度発症すると治療に難渋するケースが多くみられます。その原因となる破裂脳動脈瘤は、現在、開頭術（Clipping）および血管内手術（Coil）で治療を行っています。

開頭術は、1回の手術で、ほぼ完全に破裂脳動脈瘤を抑え込むことは出来ますが、開頭という患者さまへの体力的、精神的な負担、コスメティックな問題、また脳動脈瘤の部位、大きさによっては手術が困難なケースもあります。

しかし、血管内手術は基本的にカテーテルが到達できる部位であれば血管内手術は可能です。開頭という負担も少なく、コスメティックな問題もありません。しかし、血管内手術は施術後、長期にわたりFollow Upが必要となります。

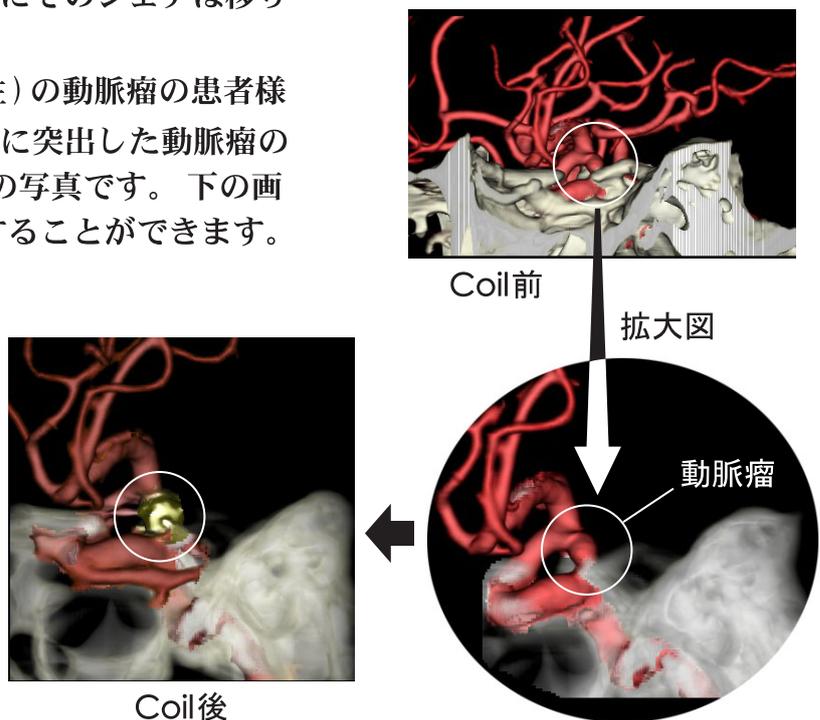
クモ膜下出血が手術後に難渋する理由としてクモ膜下出血後の脳血管攣縮（れんしゆく）があります。これは脳動脈が痙攣（けいれん）を生じ細くなり脳虚血（きょけつ）を生ずる病態です。

現在のクモ膜下出血後の脳血管攣縮という問題から血管内手術は攣縮を生じにくく、以上の長所・短所から、血管内手術にそのシェアは移りつつあります。

右の図は、左ICPC（※下記注）の動脈瘤の患者様の3D-CTAの画像です。下向きに突出した動脈瘤の血管内手術（Coil）前及び術後の写真です。下の画像の様に完全に動脈瘤をPackすることができます。

いずれにせよ、発症する前に手を打つ必要があります。そのためには外来にてMRI、MRA、3D-CTAを施行し発症前に診断し、脳動脈瘤が破裂する前に開頭術ないしは、血管内手術をする事が重要と考えます。

（※）ICPC：内頸動脈後交通動脈といひ
眼球奥付近を通る動脈です



平成20年4月～9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来患者延べ数	4,331	4,284	4,444	4,685	4,427	4,297	26,468
入院患者延べ数	1,376	1,318	1,342	1,283	1,490	1,365	8,174
搬送救急車台数	361	380	362	412	384	377	2,276
平均在院日数	14.3	11.7	12.0	10.8	12.8	13.4	12.5
手術件数	64	51	46	51	54	39	305

栄養科だより

トランス脂肪酸

飽和脂肪酸（バターやラードのように主に肉類や動物性脂肪、乳製品の脂肪）の多量摂取と脂質異常・心臓病との関係が普及し、最近では脂肪の質に気を遣われている方が増えていると思います。ところが食事の中の脂肪で飽和脂肪酸よりも悪いものがあると分かってきました。それが、「トランス脂肪酸」です。

100年前、食物化学者は植物油に水素とニッケル金属の粒子を混ぜて加熱すると凝固することを発見しました。この発見は…、

- ①固体になった植物油の方が輸送や貯蔵が液体より楽である
- ②バターやラード（固形の動物性脂肪）の代わりになる
- ③油臭くならない、などの利点があります。

20世紀はじめ、この人工的な脂肪酸はほとんど食べられていませんでしたが、今は増えつつあります。

トランス脂肪酸は、ファーストフードやスナック菓子・菓子パンマーガリン類に多く含まれています。しかし、日本で売られている食品のトランス脂肪酸含有量は、メーカーによって大きな差があり、最近では規制に乗りだしたメーカーも出てきています。

すべての食品でトランス脂肪酸が少なくなれば安心できますが、それまでは脂っこいお菓子、菓子パンを食べすぎないように注意することが望まれます。ダイエットの動機付けにいかがでしょうか。



インフルエンザワクチンの 予防効果について

感染対策委員会

インフルエンザは毎年流行しますが、病原ウィルスは少しずつ抗原性を変えることが多く、ワクチンも毎年これに対応する株が選定されています。

インフルエンザワクチン株と流行株が一致した場合に期待できる効果は、一般男性で7割以上、高齢者では3～6割の発病予防効果が期待できるとされ、さらに高齢者に関しては50～60%の肺炎予防効果、80%の死亡予防効果が期待できる報告されています。

(CDC/ACIP報告書より)

ワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後約2週間後から約5ヶ月とされており、毎年流行が予想されるシーズンを考慮すると、ワクチン接種は10月下旬より12月中旬に行われるのが望ましいと思われ、また、13歳未満の小児は一度に規定用量を接種できないため、2～4週間の間隔をおいて2回注射することが望ましいとされています。

当院でもインフルエンザ予防接種を行っておりますので、御希望の方は御来院下さい。

【接種料金】

- 1回接種：3150円
- 2回接種：4730円

※新宿区高齢者接種票をお持ちの方は
お持ち下さい。(2200円/1回)



春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様安心して信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良いパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく十分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

CT、MRI、脳波など各種検査予約は、
下記時間帯にお電話にて承ります。

平日 9:00～17:00（土曜日～16:00）

《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は
診療担当医又は鈴木が対応いたします。
夜間、休祭日は当直医が対応いたします。
その他のご相談は医療相談室で承ります。

編集後記



運動会シーズンも終わり、秋も深まり、
紅葉がきれいな季節になりました。

しかし、運動会といえば秋というのは、
今は昔の話のようです。天候の問題や受験
の問題からも、現在のほとんどの学校は春
先に運動会を行っているようです。ピンと
きませんが、これも時代の流れですね。(U)

地域連携室長(副院長)－岡田和紀

鈴木(秀) 合田 高原 五十嵐 内山

岡田(直) 奥村 斎藤 大比良 鈴木(綾)